

第46回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時 平成22年5月14日(金) 17:30~18:45

場所 琉球大学 法文学部新棟 2階215教室

話題 『沖縄で巨大地震は起こるか？』
—最新の観測による相次ぐ発見とその意義—

発表者 中村 衛 (琉球大学理学部准教授)

2010年2月27日に発生した沖縄本島近海を震源とする地震では、沖縄本島で99年ぶりに震度5以上が観測され、沖縄も大地震発生とは決して無縁でないことを思い知らされた。琉球海溝では「巨大地震が発生しない」と言われている。しかし20万人以上の死者を出した2004年スマトラ・アンダマン大地震は「巨大地震が発生しない」とされる地域で発生した。では、やはり琉球海溝でも巨大地震が起こるのではないかな？

ほとんど証拠のない状況から研究はスタートしたが、ここ数年の海底地殻変動観測調査や1771年八重山津波の解析などから、琉球海溝は巨大地震が発生してもおかしくない場所であることが次第に明らかになってきた。講演では最近の調査結果を紹介し、琉球海溝での調査が世界の津波地震研究に新しく道を切り開く可能性について述べる。また2月27日に発生した沖縄本島近海の地震についてこれまでに分かった成果にも触れ、その意味について話す。

発表者：プロフィール



中村 衛 Mamoru Nakamura

略歴：

- 平成9年 京都大学大学院理学研究科 博士後期課程修了
- 平成9年 琉球大学理学部助手
- 平成20年 琉球大学 島嶼防災研究センター併任教員
- 平成21年 琉球大学理学部准教授

専門分野：地震学

学位：博士(理学)

学会：日本地震学会、
American Geophysical Union

主な著書

『GPSで見た琉球弧のプレート運動
—沖縄はどっちに向かっているか?—』(共著)
(やわらかい南の学と思想2:融解する境界)
沖縄タイムス社

主催：琉球大学生涯学習教育研究センター
問合先：琉球大学学術国際部地域連携推進課

TEL：098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)



今後のフォーラム (予定)

第47回

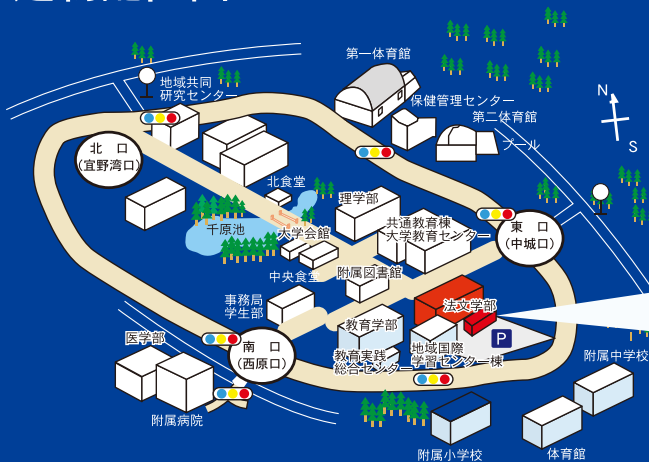
講 師：興梠 寛(昭和女子大学教授)
 話 題：「大学におけるサービス・ラーニングの可能性(仮)」
 日 時：2010年6月4日(金) 17:30~18:45
 場 所：琉球大学法文学部新棟2階215教室

第48回

講 師：早川 忠光(NPO法人地域サポート若狭代表理事)/トリオ四季の風
 話 題：「みんなで歌おう、懐かしの歌、思い出の歌～日本・沖縄の唱歌、叙情歌～(仮)」
 日 時：2010年7月10日(土) 18:00~19:00
 場 所：地域国際学習センター1F広場(予定)

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟2階

